

通級指導教室での デイジー教科書の活用事例

～1人ひとりに合った 学び方を探して～

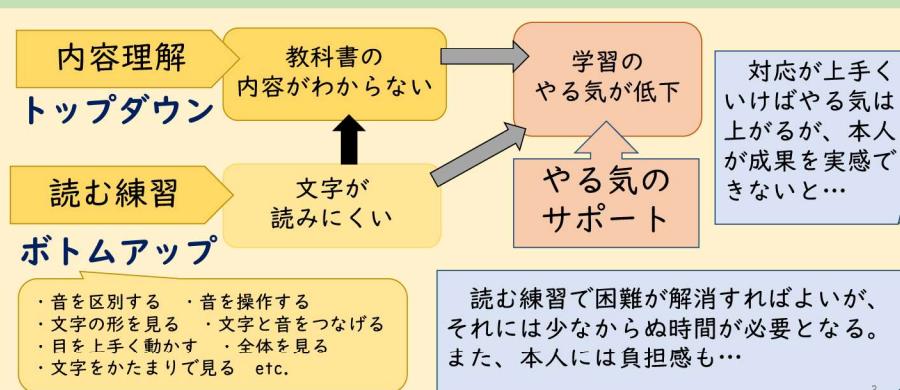


2021年12月5日
(補足用)

枚方市立磯島小学校
きこえとことばの教室
三木 立志

通級指導教室での学習とは

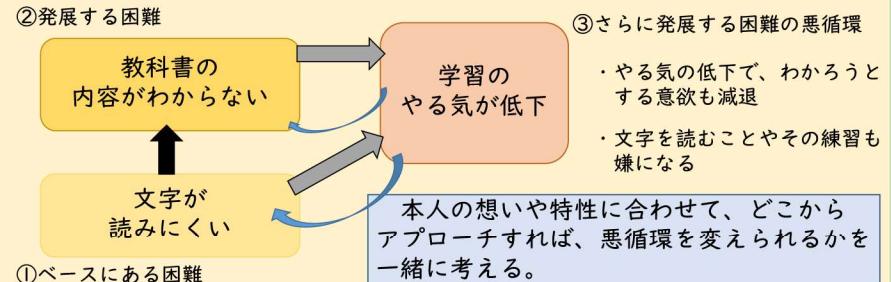
- どの困難に対して、どう対応するか（優先順位も検討）



読むことに困難を抱える子ども達

- 困難はどこにあるのか、なぜ対応を必要とするのか

例えば、読むことに困難がある場合



2

補足：読むことの困難について

○医学的な診断としてのディスレクシア

○文部科学省の定義する「読む能力の学習障害」 ⇒現に読むことに困難があり、支援を要する状態

⇒今現在は読めなくても、練習により改善することもある

練習自体の負担が大きければ、専門家の意見を聞きながら、対応を検討することも

音を聞き分ける、形を見分ける
音を操作する、すばやく見る
ことばの切れ目をさがす、見やすい方法を考える
ことばのイメージを学習する etc.

3

通級指導教室での学習とは②

○私の教室での読むことへの支援例

読む（書く）練習

デイジー教科書やツールを使う練習

同時進行

絵本イラストやさん

通級指導教室での学習とは②（補足）

○私の教室での読むことへの支援例

デイジー教科書やツールを使う練習

教科書などの文を読みやすくするツールの体験
色やシナプス機能の有無など、子どもの好みを探します。

↑上の写真は、UCHIDAS社のリーディングトラッカー

↓下の写真は、共栄プラスチック社のカラーバルーベ

デイジー教科書も用意するだけでなく、自分で操作できるように音読の練習をしたり、様々な機能を体験したりします。

また、他の音声教科書も体験して、本人の好みに合うものを選んでもらいます。

どんな支援ツールでも、用意すれば勝手に助けてくれるものではありません。
本人が使えるようになるようになって、初めて支援ツールとしての役割を担ってもらいます。

通級指導教室での学習とは②（補足）

○私の教室での読む練習例

文字の形を細かく意識する練習

I点打つことにカチカチと感触がある。
・メーカー不詳

1つ1つの音を意識する練習

黒点を指さしたり、手拍子をしたり。

絵：いらすとやさん

読む（書く）練習

文字の形を部品の重なりで意識する練習

ジオボードを活用
・メーカー不詳

ことばさがし

文字列の中からことばのかたまりをさがす練習

ことば早読み練習

たて・よこに文字を読み上げる練習でタイムを記録

アナグラムの課題だが操作する文字を子どものが好みで選ぶ。

←写真的動物はアイアップ社のもじもじZOO

いつデイジー教科書等を活用するか

・それぞれの課題や状況に応じた支援の選択

同じ「読みにくい」という課題であっても背景は様々

⇒個の課題に応じた練習と、それが頑張りたいことを頑張れる方法で指導する必要がある



・読む練習を完了してから、教科書を読もうとすれば

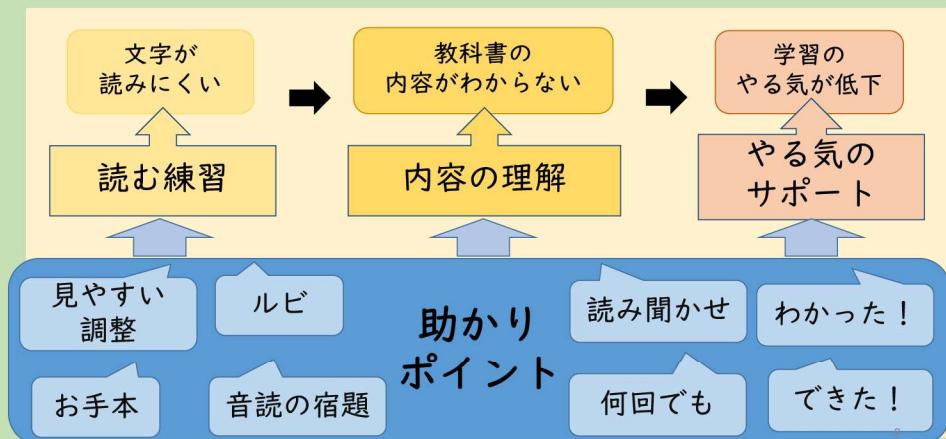
どんどん遅れてしまう

⇒読む練習と並行して、教科書の内容を学習できればよい

⇒デイジー教科書等を活用する

※デイジー教科書等は、音読の宿題にも有効

デイジー教科書等の活用で得られるサポート



指導事例の紹介①



○Aさん

- ・「文字」文字は読める。書くこともできるので教科テストはできていた
- ・目を動かすことの苦手さが読むことの困難が見られた

⇒

- ・デイジー教科書は主に通級と家庭で活用
- ・見るトレーニングの努力と、デイジー教科書の横書き変更で読みの困難が軽減

10

指導事例の紹介②

○Bさん

読み書きの困難があり、授業で自分がどうがんばればよいかわからなかった

⇒

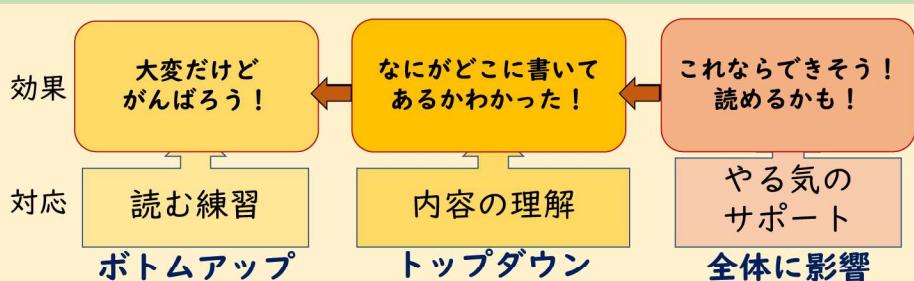
- ・使い方を教わらなくても、自分でデイジー教科書を操作して音読の宿題に取り組む。
- ・自分でやろうとする気持ちやトレーニングに向かう姿勢もさらに前向きに。



絵：Soraさん

デイジー教科書活用の効果

- ・今は読めていなくても、教科書の内容にアクセスできる
- ・もっと学びたい、読みたいという気持ちからサポートする



絵：Soraさん

11

ディジー教科書の活用で考えているポイント

①読むことの困難の要因と、その改善を考える
⇒読む練習の助けになるのであれば、活用を考える

②日々の学習への参加や内容理解へのサポートを考える
⇒教科書の予習・復習、日々の音読の宿題での活用を考える

③本人や保護者が、どのように学習したいかを考える
⇒ディジー教科書を知らなければ選択肢に上がらない
選択肢の1つとなるよう、情報提供ができるようにする

子どものやる気につながる活用が、いつでもできるように

13

最後に

- ・今回ご紹介したのは、多様な読み書きの課題を抱える子ども達のうちの一部の事例です。ディジー教科書等を活用するか、読み書きの練習を行うかも、お子さんや課題の状況によって変わってきます。
- ・同じような課題を抱える子ども達の支援のヒントになれば、あるいは通級などの支援の場を知ってもらうきっかけになれば幸いです。

・本資料は、講演会後にご要望があり配布する補足用となります。
内容については、削除したものと追加したもの（支援例の説明）があり、
当日のプレゼンテーションとは異なる部分があります。